



市街地の中で、環境を学び、湿地と草原を楽しむ

ながつがわちょうせつち

長津川調節池

ながつがわりょくち 長津川緑地

長津川調節池は、洪水対策のための調節池の一部を広場として整備し市民に開放しています。隣接する長津川緑地とともに良好な自然環境を形成しており、市民の憩いの場となっています。湿地化した池の周囲では、季節ごとに多様な鳥類の観察が楽しめるほか、様々な生き物が生息しています。春には桜が満開となり、訪れる人々を魅了します。船橋市では、防災や環境教育の場としても活用されており、自然と暮らしをつなぐ大切な空間として親しまれています。



コサギ

全長は約60cmで、サギ類の中では小柄な部類の鳥です。よく田んぼや湿地などの水辺に現れることで知られています。白い体色にくちばしが黒色、足先が黄色であるのが特徴です。

水と親しむゾーンは、ヨシやヤナギに囲まれた湿地となっています。コサギやカワセミなど、水辺の鳥類の姿を確認できます。



水と親しむゾーン



満開の桜

春になると満開の桜があちこちで咲き乱れます。満開の桜に囲まれながら散歩やジョギングをする市民でにぎわっています。

- ・ゴミは持ち帰りましょう。
- ・動植物を大切にしましょう。
- ・施設や他の利用者に迷惑をかけないようにしましょう。
- ・へびやハチに注意しましょう。



川と自然の学びのゾーン

調節池は「緑と青空のオープンスペース」や「川と自然の学びのゾーン」といった湿地から草地まで多様な自然環境に囲まれています。川と自然の学びのゾーンでは、湿地の植物や、シオカラトンボやギンヤンマといった昆虫を確認できます。

アブラゼミ

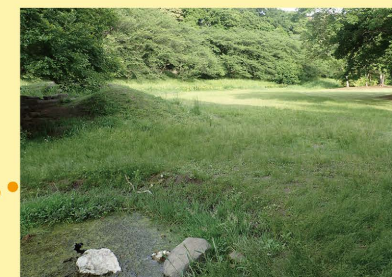
公園や市街地で見られるセミです。体が黒っぽく茶色い翅を持ちます。成虫が見られる時期は夏から秋にかけてで、木にとまって大きな声で「ジリジリジリ」と鳴きます。



モズ

全長は約 20cm で太めの体型と細長い尾が特徴の鳥です。緑豊かな場所に生息していて、「キー」という高鳴きをします。捉えた昆虫やカエルを木の枝や有刺鉄線に突き刺して保存する、「モズのはやにえ」という行動が有名です。

モズ
アブラゼミ



緑と青空のオープンスペース

緑と青空のオープンスペースでは多くの人の遊び場となる以外にも、アオスジアゲハやヤマトタムシのような昆虫やシジュウカラやモズといった鳥などを確認できます。

ホトケノザ

畑地や道ばたによく見られるシソ科の植物です。高さは10~30cm程度で、紫の花をつけることで知られています。開花時期は3~5月です。



カントウタンポポ

道端や空き地に生えるキク科の植物です。高さは30cm程度。日本の固有種ですが、現在はセイヨウタンポポの方がよく見られます。花期は3~5月で、冬は地上部が平らなロゼット状になります。

